

「梗概「青空」 地方紙の遊軍記者「佐川」と精神科病院に半世紀も入院する老女「礼子さん」との交流を描く。

佐川は宿直勤務のときに受けた電話をきっかけに、精神科病院の取材に乗り出す。鍵だらけの閉鎖病棟、古いトイレや狭い隔離室、畳の大部屋など、「化石のような」病院の実態に衝撃を受ける。そんな病院の中でインタビューに応えてくれたのが礼子さんだった。

いつも窓際に座り鉄格子越しに外を見ている。大部屋でのプライバシーのない生活や、病院側に課された掃除や入浴介助などの体験も楽しそうに話すが、佐川は礼子さんらに取材するうち、長期入院患者の中にも入院の必要のない患者が大勢いることを知る。

佐川は上司に連載企画案を出すが一入院患者の証言は信用できない」と反対され、ボツになる。だがそれからしばらくして上司が異動で代わり、佐川にチャンスが回ってくる。